

JTAGのみで完結!

関数プロファイルを始めとした解析を使用可能に!

# シーケンスロガー



## JTAGからログを出力し多角的な解析を可能に

JTAGデバッガ adviceXrossに

新機能が搭載

多角的な解析を可能にします

機能:

- 関数チャート表示
- 実行関数カバレッジ表示
- 関数プロファイル機能
- 関数ヒストグラム表示
- 2点間時間計測表示



ライトプラン

: ユーザーシステムの構成に依存することなく簡単に適用可能です。  
(時間情報の精度が粗くなるため順序性の確認やカバレッジ用途向けとなります)

アドバンスドプラン

: ユーザーシステムのTimerを使用して正確な時間精度でログ出力します。

## トレース資源を持たない Armマイコンにも対応可能!

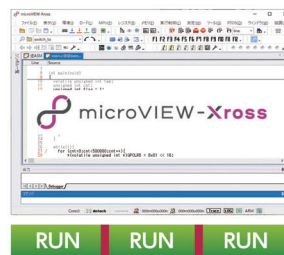
MCUを使用した組み込みシステムは連続稼働の環境下で安定動作が求められる一方、MCUに実行させるソフトウェアの挙動をトレース・検証する仕組みが潤沢にはなく、検証データを残すことが難しい側面があります  
シーケンスロガーではトレース専用のH/W接続及びOnChipトレース資源を必要とせず、上記の課題をクリアします! 本機能は advice Xross JTAGモデル + シーケンスロガー専用ライセンスのみで実現可能です

```
void fnA(){
  ret = fnB();
  fnC(ret);
}

int fnB()
{
  // 処理
  if(xx){}(x);
  return }else{
  return(y);
}
}(x);
}else{
```

### 【フック処理 埋込】

自動挿入ツールで従来のプリント文よりもオーバーヘッドの少ない関数In / Out フック処理を追加  
これにより、システム挙動への影響を最小限に抑えます



### 【ブレーク時に情報取得】

フック通過時にソフトウェア上でGO/ブレークを繰り返し、ブレーク中に関数In / Out情報を取得します  
ログはPC上に保存されるため長時間の記録を可能にします

## テスト自動化を行う CI連携 (対応検討中)

【右図 対応イメージ】

advice Xross CI連携としてビルド・テスト実行・結果判定の全領域を自動化します

判定がNGであった場合もシーケンスロガーの解析結果を参照することで工数削減に繋がります

